

(3) マッチング班(マッチング・支援活動)


1 活動内容

マッチング班は、被災者からの様々な支援ニーズとボランティアの活動希望を結びつける役割を担う。

需給のミスマッチを最小限に防ぎ、ボランティアの安全を確保したうえで、ボランティアの自発性や柔軟性を活動に活かすように留意する。


2 活動手順

(1) 事前準備

- 
- ① ボランティアニーズ受付票（様式「ニーズ-1」）と活動指示書（様式「ニーズ-4」）と活動場所付近の地図をコピーしたものを、3点セットでニーズ班から受け取る。
（留意点等をよく確認すること。）
※書類の流れについては、（様式「ニーズ-5」）の資料参照
 - ② 依頼者宅に連絡し、送り出しが可能か確認する。
 - ③ 必要に応じ、送り出し班とボランティア用の移送車両について調整する。
 - ④ 適宜、活動指示書を整理し、（様式「マッチング-3」）の活動台帳に入力、活動一覧を管理する。
 - ⑤ マッチングにおいて、「ポストイットを使用する方法」を採用する場合、活動指示書を基に、ボランティア募集票（様式「マッチング-1」）を作成する。
（「活動人数によりグループ分けをする方法」を採用する場合は省略）

(2) マッチング

●ポストイットを使用する方法

- 
- ① ボランティア募集票を、緊急度の高い順にボランティア活動掲示板に貼る。
 - ② 受付、オリエンテーションを終了したボランティアを活動掲示板に誘導し、希望する活動内容が記載されたボランティア募集票に、ボランティアの氏名、性別、携帯電話番号を書いた付せんを貼ってもらう。（この方法の場合、受付時に記入してもらう。※P.70 参照）
 - ③ 必要な人数が集まったらボランティアを呼んで、P.74（3）活動の個別説明により説明を行う。

●活動人数によりグループ分けをする方法

- ① 活動指示書を基に、受付、オリエンテーションを終了したボランティアに、簡単に活動内容と必要人数を説明し、人数によりグループ分けをして、活動に必要な人数を集める。
（立候補を募っても良い。）
- ② 活動するグループが決定し次第、P.74(3)活動の個別説明により具体的な活動内容の説明を行う。